

発 言 通 告 書 要 旨 (1 枚目 / 全 3 枚)

氏 名 林 俊 昭

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
1	(1)	<p>令和7年度当初予算案について 補正対応とした事業と令和8年度対応とした事業について これまでになく肥大化した予算案だが、補正予算や令和8年度以降に先送りした事業名と事業費を示せ。</p>	
	(2)	<p>昨年末に示された中期財政計画との乖離について 昨年11月に示された「中期財政計画」と当初予算案の比較では総額395億2,500万円に対して、413億1,270万円（借換債を除いた額）となり、4.5%増加している。特に投資的経費の伸びは異常であり、一般財源として歳入が追い付かないのではないかという強い危機感を覚える。4か月前に示された計画から、どのような状況の変化があり、今般の予算案となったかを、歳入面では市税、地方交付税、市債、ふるさと納税について、歳出面では投資的経費について示せ。</p>	
	(3)	<p>市債残高について 予算説明会資料を見ると、合併特例債や臨時財政対策債の残高は減少するとのことだが、「その他の市債」の残高が50億5,200万円も増加している。主要事業等の概要に記載されている財源内訳には「一般補助施設設備等事業債」や「公共事業等債」など聞きなれない名称が並んでいる。当然、償還における交付税措置率の高い有利な起債を優先的に選択したと思うが、この有利な起債がどの程度あり、交付税措置額がどれほどになるのか。</p>	
2	(1)	<p>維持補修費や施設改修費の在り方について 市道のメンテナンスについて 予算説明資料では、市道の「維持補修費」は1億130万円、「交通安全施設費」は2,790万円となっているが、令和3年度から7年度までの当初予算額の推移を示せ。また、今後の自動運転時代に向け、来年度以降、どのような市道の維持補修の方針を掲げていくのか。</p>	
	(2)	<p>体育施設の維持補修と改修について 平成28年3月に策定された「加賀市スポーツ推進計画」においても、スポーツ施設の整備が声高に叫ばれている。これまで、再三再四、維持管理がなっていない旨を同僚議員を含めて申し上げてきたにもかかわらず、予算措置がなされず半ば放置されてきたが、来年度、10億円もの予算を付け、一斉に改修を行うことになった経緯とその理由を問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全3枚)

氏 名 林 俊 昭

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
3	<p>デジタル田園都市国家構想交付金について                      令和6年度の「デジタル田園都市国家構想交付金」1億1,515万2千円が、令和7年度ではゼロになっている。この交付金がゼロになった理由を問う。</p>	
4	<p>地域コミュニティ施設等再建支援事業について                      事業費1億9,000万円のこの事業は、令和6年能登半島地震復興基金交付金を活用した事業であるが、これだけ大きな予算規模であるにも関わらず、主要事業には掲載されていない。具体的にどの施設をどのように再建するのか。</p>	
5	<p>(1) 合併20周年記念事業について                      エンジン01in加賀温泉実行委員会運営事業について                      総額6,000万円の内訳は示してあるが、それぞれの算出根拠を示せ。あわせて、事務局の体制について詳細を示せ。</p>	
	<p>(2) その他の合併20周年記念事業について                      市民が主体となって企画立案し、市全体で20周年を祝うような取組が必要ではないかと思う。去る合併10周年では記念誌が発行され、合併の年に生まれた小学生が描いた「10周年後の加賀市」の絵画が載せられていた。そこで、合併20周年記念誌を発行するのか。発行するならば、準備期間を考えると当初予算に計上しないと間に合わないと思うが、どのように考えているのか。                      また、他にどのような事業があるのか。</p>	
6	<p>片山津温泉廃業旅館跡地整備事業について                      国の「空き家対策総合支援事業」の補助採択が受けられたようだが、それでも7,950万円もの一般財源が必要である。解体後の跡地利用の構想もなく、予算措置をすることは理解できない。具体的な跡地活用を示さないと市民から理解が得られないのではないか。市民への説明のため具体的な跡地活用策を示せ。</p>	

発言通告書要旨 (3枚目/全3枚)

氏名 林 俊昭

発言番号	発言事項及び発言要旨	備考
7	<p>山中温泉ぬくもり診療所における病床廃止後の旧山中温泉医療センター跡地の活用について</p> <p>加賀市医療センターができたことにより、山中温泉ぬくもり診療所の病床 19 床はこれまで稼働することはなかった。これは山中地区の住民の不安が解消されたためではないかと思う。</p> <p>一方、山中温泉ぬくもり診療所周辺に広がる旧山中温泉医療センター跡地については、宮元市政 3 期 12 年の間、全くの手付かずである。跡地活用は病院統合の約束でもあり、そろそろ国からの強烈的な指導が入るのではないか。近年は検討する姿勢すら見えず、これでは地域住民の理解は全く得られない。</p> <p>今後の跡地活用の方向性や活用方法を示せ。</p>	
8	<p>(1) 今年度の手土産代について 手土産について</p> <p>令和 6 年度の現時点での手土産代の件数と金額、その理由を示せ。また、そのうち市民や市民団体などに対して渡された手土産があれば、その件数と金額、及びその理由についても示せ。</p>	
	<p>(2) 予算について</p> <p>そもそも手土産代は予算付けされているのか。予算額を把握したうえで執行しているのか。</p>	